

専科教室通信 38号



プログラミング検定のお知らせ

2019年11月より、毎月第4週目の土曜日に「ジュニアプログラミング検定」を実施します。参加は任意で、希望される方は「前月末まで」にお声かけ、お申し込みをお願いいたします。概要は下記のようにしております。

試験内容

主催・認定	サーティファイ 情報処理能力認定委員会
試験名	ジュニア・プログラミング検定 Scratch部門
試験目的	プログラミング的思考力を定着させ、その知識を土台とした創造の可能性を広げる。また、子供達の成長を段階的に評価する事で、自身や達成感につなげ、さらなる目標に挑戦する意欲を育てる。
認定基準	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>★ Gold(1級) 複数条件や筋道を組み合わせた論理的思考ができる。また、複数の条件分岐や演算、入れ子構造のスクリプトなどを使って、様々なスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。</p> <p>★ Silver(2級) 基本的な条件や筋道を用いた論理的思考ができる。また、複数の条件分岐や入れ子構造のスクリプトなどを使って、少数のスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>★ Bronze(3級) 単純な条件や筋道を用いた論理的思考ができる。また、複数の条件分岐や入れ子構造のスクリプトなどを使って、少数のスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。</p> <p>★ Entry(4級) 入門レベルの特定の条件や筋道を用いた論理的思考ができる。また、条件分岐や繰り返しなどのスクリプトを使って、一つまたは二つのスプライトを連動させたScratchプロジェクトを作成することができる。</p> </div> </div>
受験資格	なし。どなたでも受験できます。
合格基準	得点率が60%以上

出題概要

	★ Entry(4級)	★ Bronze(3級)	★ Silver(2級)	★ Gold(1級)
試験時間	30分	40分	40分	50分
受験料(税込)	2,300円	2,500円	2,700円	2,900円
出題例	例:おいかけてゲームをつくらう。	例:レースゲームをつくらう。	例:計算ゲームをつくらう。	例:シューティングゲームをつくらう。

連載 プログラミング教育ってこんな感じ その2 「教育版マイクラでやっていること」

Minecraftの世界はすべてブロックで出来ていて、ブロックを壊して素材を手に入れ、その素材をもとに建物や家具などを作ったり、ブロックの組み合わせでオリジナルの世界を構築したり、その世界のなかを冒険したり、創意工夫してプログラミングしながら遊ぶことができる。また他ユーザーが作った世界へ行ったり、多くのユーザーと一緒に遊んだりすることも可能。一般的なゲームのように「ボスを倒す」「ミッションを制覇する」といった明確なルールやゴールはなく、人それぞれの楽しみ方がある。

